

国際交流・社会貢献等の概要

海外との協定等

- ・ハワイ大学宗教学部との協力に関する共同声明 2002.9
両者間の教員・学生の交流、研究、企画、会議の継続的協力
- ・中部イタリア神学学部との文化交流協定 2007.1
2005,2006年にお互いを公式訪問したことを機に文化交流を開始
教員・学生の受け入れ、ならびに宗教的文化の交流

国際学会・シンポジウムの開催

- ・高野山国際密教学術大会 (ICEBS) 2006.9.5-8(於高野山大学)
創立120周年記念事業として開催。「密教文化の歴史と展望」をテーマに、
アメリカ・イギリス・中国等をはじめ海外12カ国の密教・宗教研究者約250名
が出席。 ※記録誌(非売品)は図書館等でご覧ください。

付. 静名誉教授が尽力して設立した空海研究会(1988～福建省)では
2010.4「第1回中国密教国際学術シンポジウム」(於中国・西安)を開催。
同教授は1984年「空海・長安への道」訪中団団長として福州(赤岸鎮)から西安
(青龍寺)までの2400キロを踏破。1988年に空海研究会を福州に設立。
2004「空海と日中文化交流国際学会」(上海・復旦大学)の開催にも尽力。
(日本人発表者の論文は『弘法大師空海と唐代密教』として公刊)

国際交流事業・海外調査 等

- ・チベット・バングラデシュの海外学術調査
- ・空海・長安への道 福州から西安を踏破
- ・イタリア・カトリック教の神父等との異文化交流
- ・外国人研究者招聘による研究会・講演会等
- ・学生参加型の交流事業
近年は、大学主催によるものよりも、現地とのコネクションを有する教員が、印度・唐・西藏・
糸綫之路(シルクロード)などの呼称で馴染み深い地域に密教・マンダラ・書道等の調査・
研究・見学で赴く場合に、学生を募集。
- ・ナムギャル僧院の僧侶による砂マンダラの作成
高野山大学創立125周年を記念して実施した「ダライ・ラマ法王招聘事業」に伴い、
砂マンダラ(金剛界マンダラ)の作成を見学・記録する目的で、ナムギャル僧院の僧侶
10数名をお招きした。砂マンダラは、2011年11月1日から2日にかけて、本学にて開
催された、ダライ・ラマ法王による「チベット密教 金剛界マンダラ灌頂」に用いられた。
(2012.3)
- ・ナムギャル寺前僧院長 チャト・リンポチェ師による金剛界法の伝授
高野山大学創立125周年を記念して実施した「ダライ・ラマ法王招聘事業」に引き続き
2013年5月7日から8日にかけて、ナムギャル寺前僧院長 チャト・リンポチェ師をお招
きし、ヨーガタントラに関する「六座グルヨーガ」の伝授及び金剛界法の伝授を、本学で
開催した。
(2013.5)

社会貢献活動

- ・各種生涯学習講座、伝統教学復興プロジェクトなど(21世紀高野山医療フォーラムは)
各事業の告知はHP、各事業記録はHP情報公開の各年度事業報告書を参照のこと。
教育・研究機関として、在学生のみならず、広く社会に生涯学習の機会を提供する
こと、社会に資する研究についてその成果を流布していくこと、先人より受けついで
文化についてその価値を再確認して継承・発展させていくことを大切な使命と心得て、

各種の講座を開催しています。

- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の発信
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する高野山、その歴史・文化等を研究・発信していくことも、国際交流につながるものとして教育・研究に取り組んでいます。

- 高野山大学創立125周年記念事業「ダライ・ラマ法王招聘事業」
高野山大学創立125周年記念事業として、チベット仏教の最高指導者、ダライ・ラマ法王14世をお招きした。大阪市 舞洲アリーナならびに高野山大学松下講堂黎明館にて、2011年10月30日から11月3日までの期間、講演会やチベット密教の灌頂、さらには科学者や本学学長との対談など、多岐にわたるプログラムを催した。4日間で総勢8,000名(延べ人数)の方が参加された。この時の講演会の模様は、『傷ついた日本人』(新潮新書462、2012年4月)として、出版されている。

(2012.6)

- ダライ・ラマ14世招聘事業
高野山大学では、歴史的に見て緊密な関係にある日本の真言密教とチベット密教の交流のために、ダライ・ラマ14世をお招きし、2014年4月13日～4月15日にかけて、チベット密教胎蔵マンダラ灌頂、記念講演を催し、3日間で合計のべ2136名の方が参加された。その後、ダライ・ラマ殿下からチベット大蔵経(仏説部と論疏部)一式と今後の学術交流の基金を寄贈していただいた。

(2014.4)

- 東日本大震災ボランティア活動
平成25年9月6日～9日:辻雅榮足湯隊、南三陸町、職員1名・学生3名
- 秋の交通安全運動ボランティア活動
平成25年9月20日:和歌山県警、高野山金剛峯寺前、職員1名・学生2名

大学間連携

- コンソーシアム和歌山
和歌山県下の高等教育機関が連携して各種事業を実施しています。
<http://www.consortium-wakayama.jp/>
- 京都・宗教系大学院連合(K-GURS)
K-GURSは、宗教の多元化が進行する中で、京都を中心とした宗教系大学の大学院が、それぞれの宗教や宗派の特色を生かした教育プログラムを展開し、次世代の宗教研究者、宗教指導者、宗教に関するプロフェッショナルとなる人材育成を行い、研究上の相互交流を図ることを目的としています。また、京都を中心に形成された、このような学術ネットワークを広く世界にオープンにし、国際社会との学術交流を促進する目指しています。
<http://www.kgurs.jp/>
- 南大阪地域大学コンソーシアム
南大阪地域の大学で構成されている南大阪地域大学コンソーシアムに2013年度に加盟し、連携して各種事業を進めている。
<http://www.osaka-unicon.org/>
- 過年度実績(一部)
和歌山大学が代表となって県下高等教育機関が連携した「大学改革推進等補助金 戦略的・大学連携支援事業 観光を主軸とした知の拠点形成のための戦略的・大学連携」に参画。(H20～22年度)
京都・嵯峨芸術大学との間で両部曼荼羅制作にかかる共同研究。(H20～H22)

産学官連携

和歌山県立医科大学が代表となった「平成20年度低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に参加(H20)しましたが、本学独自に産業界と連携した企画はありません。(2013.9現在)